

## コラム 湘南藤沢メディアセンターのコンセプトについて

メディアセンターの次期中期計画（2011～2015, 策定中）を補完する位置づけとして、湘南藤沢メディアセンター（以下、SFCMC）においても地区の特色に沿ったコンセプト、ビジョン、5ヵ年マスタープランをほぼ1年かけて策定した。湘南藤沢キャンパス（以下、SFC）らしく様々な試行錯誤を経て辿り着いたのだが、ここでは簡潔に紹介しておきたい。

SFCMCのコンセプト：“見つける、考える、生み出す”を支援する。Find. Think. Generate

最も難しいと感じたのは簡潔かつ確実にコンセプトをフレーズ化する作業である。コンセプトにはSFCの研究・教育活動の特色である問題発見・問題解決型という考えを含みつつ、SFCMCとして学術情報へのアクセスと知的活動の環境をSFCらしく支援する姿勢を反映している。またFind. Think. Generateという語が提示されているのは、新しいSFCMCの姿を概念としてイメージ想起させる狙いがあるためである。

この策定にあたってはCI（コーポレート・アイデンティティ）のコンサルティング会社（AXHUM Consulting）からアドバイスをいただき、オリジナルな発想法も採り入れつつ、より良いものを目指すためスタッフ全員参加のディスカッション・ワークショップを幾度となく実施した。途中、組織の強みの分析や変革する価値観をめぐって激しい議論はあったが、他大学へのヒアリングや学生・教員との懇話会、SFCMC協議会、教職員対象のSFCアゴラにおける質疑等を経たボトムアップの成果でもある。

SFCアゴラにおける教員の感想には次のような言葉があったので、紹介しつつ結びとしたい。「メディアセンターのドメインは何か、どこまで踏み込むか、考えさせられた。“見つける、考える、生み出す”というコンセプトは大学の機能そのもの。野心的でSFCらしい。」

長坂 功